

外国語教育メディア学会（L E T）関西支部中学高校授業研究部会・
京都教育大学英語の教え方研究会 主催

2014年度 6月例会のご案内

日 時： 2014年 6月 15日（日）13：30～17：00

会 場： 京都教育大学 CALL教室（1号館B棟4階）
（アクセスは<http://www.kyokyo-u.ac.jp/>から）

参加費： L E T会員・英語の教え方研究会会員 無料
京都外国語大学英語教育研究会会員 300円
学生 200円 一般 500円

問い合わせ先： 西本有逸（京都教育大学） yuitsu@kyokyo-u.ac.jp
鈴木寿一（京都外国語大学） j_suzuki@kufs.ac.jp

内容：

13：10～ 受付

13：30 開会

発信型英語授業を支えるものは何か？

京都教育大学 西本有逸

英語を発信するためには、how to produce と what to produce の二面を考える必要があります。特に後者を支えるものが大切であり、昨今の高校（英語）教育は大学入試に特化するあまり、〇〇を軽んじているのではないかと危惧いたします。今回はこの〇〇について考えます。（〇〇とは何か？〇〇を取り戻すために急がば回れ?!）

途中休憩

発信型高校英語授業の創造：音読、ライティング、ディベートを通して

滋賀県立守山中学校・高校 戸田行彦

発信型の英語授業で生徒は大学入試を突破できる英語力をつけることができるのでしょうか。アメリカの教育学者エドガー・デール（Edgar Dale）の学習のピラミッド（学習定着率）をご存知の方は多いと思います。私は自身の中学高校時代で受けた英語授業の経験もあり、英語は実技教科だと考えているので、教師による Lecture をなるべくコンパクトにし、実際に生徒が英語を Practice する時間を多くとることを重視してきました（学習定着率：Lecture：5%：Reading：10%：Audio-Visual：20%：Demonstration：30%：Discussion Group：50%：Practice by doing：75%：Teach other/Immediate Use：90%）。

私は3年間の実践を振り返ってみて、教師集団の団結した強い意志と生徒を信じる気持ちがあれば、大学入試突破力だけではなく、卒業後も自ら学び続けることができる学習者を育てられると信じています。

初任校である県立石山高校で3年間持ちあがった学年の授業実践を科目別に紹介し、学習者の声や客観的な数値だけでなく、ご参会の先生方にも一部体験していただきながら実践紹介をさせていただきます。発表内容は以下の通りです。

【第一部】1年生から3年間続けた英語I・II・Rでのペアワーク音読を重視した授業

【第二部】2・3年生のライティング授業における文法項目別・テーマ別のライティング指導例～グループライティングから、強い意見を作るディベート立論作成まで～

【第三部】3年生1・2学期でできる英語ディベート指導例～ペアディベートから4：4ディベートへ：生徒の思考の変化とともに～

【時間があれば】S.G.Hを受けて、現在の実践紹介

17:00 閉会

会場までのアクセス：

1) 京阪電車利用の場合

- ・淀屋橋、天満橋、京橋からは、特急あるいは快速急行で丹波橋下車、普通あるいは準急電車に乗り換え、墨染駅下車（所要時間約40分）。徒歩約8分。
- ・四条からは、普通あるいは準急電車で墨染駅下車（所要時間約15分）。徒歩約8分。

2) JR京都駅よりJR奈良線利用の場合

JR京都駅でJR奈良線に乗り換え、普通電車でJR藤森駅下車（乗車時間約8分）。徒歩約3分。

3) 奈良方面より近鉄電車利用の場合

西大寺にて快速または快速急行に乗り換え、丹波橋下車。京阪本線普通あるいは準急電車に乗り換え、墨染駅下車（乗車時間約40分）。徒歩約8分。

お願い： 最近、メールアドレスを変更される方が増えておりますため、案内をお送りしても100名分以上が戻って来ます。今後、メールアドレスを変更される場合は j_suzuki@kufs.ac.jp までお知らせください。

今後の予定：諸般の事情で日程・会場が変わる可能性もあります。

10月11日（土）LET 関西支部秋季研究大会 於）同志社女子大学

12月・1月例会 於）京都教育大学

3月21日（土）・22日（日）第21回中学高校教員のための英語教育セミナー
於）キャンパスプラザ京都